

第1回・第2回 社会調査データ活用セミナー

社会調査データの解析① クロス集計と相関分析

近年、データアーカイブの拡充や統計教育の広まりによって、既存の社会調査データを用いた二次分析に注目が集まっています。ですが、データを入手しても分析プランの設定や調査データの加工といった実践的なところで躓いてしまう初学者も多くいるのではないのでしょうか。

今回のセミナーでは、分析の手前のデータ処理とその考え方について解説し、立教大学社会調査データアーカイブRUDAのデータを利用して、統計分析ソフトSPSSを用いた基本的な統計分析(クロス集計と相関分析)を実際に行います。

▶ 日時
2024年
6月12日
(水)
17:30-19:00

▶ 開催形式
対面
8501教室
(池袋)

▶ 対象者
統計や量的調査
に関心のある
学部生・院生
ならびに教職員
(兼任講師含)

▶ 定員
30名

▶ 講師
御手洗 由佳
社会情報教育研究
センター
社会調査部会 助教

▶ 申込みは
こちら


受付締切：開催前日17時

社会調査データの解析② 回帰分析

本セミナーは、回帰分析を用いた応用分析に必要な基本的知識およびデータハンドリングの基本事項について講義していきます。講義のあと演習を行います。

具体的には

- ・ 回帰分析で頻出の基本概念
- ・ 係数や解釈や結果のまとめ方
- ・ 統計的検定

などに関する理解を深めていきます。また、実際にRUDAに寄託されたデータを用いながら統計ソフトによるハンドリングや結果の解釈、まとめ方についても講義し、皆様が実際に量的調査を行う際に注意すべき点についても説明していきます。

▶ 日時
2024年
6月19日
(水)
17:30-19:00

▶ 開催形式
対面
8501教室
(池袋)

▶ 対象者
統計や量的調査
に関心のある
学部生・院生
ならびに教職員
(兼任講師含)

▶ 定員
30名

▶ 講師
池田 岳大
社会情報教育研究
センター
社会調査部会 助教

▶ 申込みは
こちら


受付締切：開催前日17時